令和8年司法試験の結果について

九州大学法科大学院長　上田　竹志

令和8年11月11日、令和8年司法試験の結果が発表されました。

本学の修了生23名が合格いたしました。詳細は以下の通りです（括弧内の数字は全国の順位です）。

項目	全国	本学
○受験者数	3395名	78名
そのうちの既修者の数	2324名	47名
そのうちの未修者の数	1071名	31名
○最終合格者数	1186名	23名（14位）
そのうちの既修者の数	989名	18名（14位）
そのうちの未修者の数	197名	5名（12位）
○最終合格率（最終合格者数／受験者数）	34.93%	29.49%（16位）
既修者	42.56%	38.30%（16位）
未修者	18.39%	16.13%（17位）
○法科大学院修了直後の者の最終合格率	32.19%	26.67%（18位）
既修者	40.61%	30.00%（20位）
未修者	16.97%	20.00%（14位）
○法科大学院課程修了資格の最終合格率	21.49%	19.15%（18位）
既修者	27.15%	25.00%（18位）
未修者	13.01%	13.04%（17位）
○在学中受験資格者の最終合格率	53.27%	45.16%（17位）
既修者	58.31%	52.17%（18位）
未修者	33.10%	25.00%（15位）

令和8年司法試験における本法科大学院の最終合格者数は23名、最終合格率は29.49%でした。昨年と比べて全国の合格率がほぼ変わらない中で（34.26%→34.93%）、合格者数が減少し、合格率も微減しました（昨年は26名、30.95%）。過去6年の本法科大学院の最終合格率の順位は、令和3年21位（29.31%）、令和4年12位（33.33%）、令和5年21位（23.40%）、令和6年11位（34.58%）、令和7年13位（30.95%）となっており、近年の実績から見れば、比較的底堅い結果となったものの、今後、合格者の増加と合格率の向上に向けて、法科大学院として一層真摯に取り組みたいと思います。

本年の特徴として、在学中受験の合格率が、昨年から大きくは変わらず（52.00%→45.16%）、本学においても、早期合格の傾向が定着してきたことが挙げられます。このうち既修者の合格率は52.17%（18位）となり、全国平均の58.31%に相当程度近づくことができました。協定先（九州大学、西南学院大学、熊本大学、鹿児島大学）の法曹コース出身者の司法試験合格率も、高い水準を維持しています。これは、法曹コースとの連携や論述能力を強化するための取組などにより、早期に合格を目指す体制が整ってきたことの現れと考えています。

他方で、これまで堅調に推移してきた修了直後の合格率は、既修者（30.00%、20位）、未修者（20.00%、14位）ともに、低下する結果となりました。在学中受験で合格できなかった場合でも、修了後に確実に合格することができるよう、基礎力の定着と論述能力の涵養のための取組を引き続き強化してゆきたいと思います。

今後は継続的に成績を向上させてゆくために、さまざまな方法で常に現状を分析して、問題を発見し、改善に繋げてゆく所存です。